



河合サテライト通信 第49号

2010年 9月10日

学校法人 河合塾 商品サービス開発部

長い夏休みが終わりました。皆さん、しっかり勉強できましたか？先月、6月・7月の休刊分を取り返そうと立て続けに本誌を2号お送りしました。先月刊行分の第47号と第48号は、これから役立つ情報です。高3生で、お読みになってない方は、遡ってご一読ください。さて、本誌読者の中にも、首都圏や近畿圏の大学をめざしている方が多数いらっしゃると思います。ところが、そのような大都会での一人暮らしについての情報はなかなか得られないものです。そこで、現在、東京で一人暮らしをしている筆者が、その実状とコスト面についてレポートします。皆さん方は都会生活への夢や期待がふくらんでいるでしょうが、親にとっては仕送りなどコスト面が気になります。今の内に、このレポートを参考にして、親子でしっかり話しあってみましょう。 <編集担当:高瀬 優>

1. 住居選びについて

住居は立地条件、設備、間取りによって値段はピンからキリまで様々です。豪華な住まいである必要はありませんが、学生ですから、安心して勉強に専念できて、快適に住める環境が最も大切だと思います。



女子が安心して住めるマンションの例

左の図は、女子が安心して住める1Kマンションの例です。約20㎡の広さです。立地条件によりますが、新築や築浅(完成後3年くらいまで)のマンションならば、東京23区内では月額家賃(共益費込み)は75,000~80,000円です。また、近畿圏の京都市内の事例も調べたところ、60,000円(共益費込み)前後でした。室内設備は、浴室(乾燥機付)、トイレ(洗浄機付)、洗面台(朝シャン可能)、キッチン(コンロ2口)、室内洗濯機置場、クローゼット、エアコン、地上波デジタル接続端子、BS/C/S接続端子、インターネット接続端子など充実した例が多いようです。

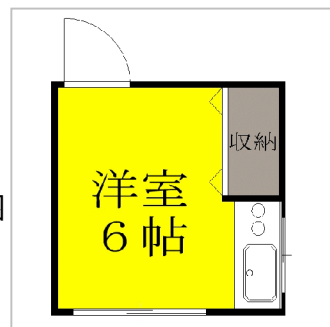
さらに、マンションの1F入口はカギがないと入れません。部外者が入る場合はインターフォンで住人に連絡して、ロックを開けてもらうのです。また、不在時に宅急便が届いたら、1F入口に設置してある宅配受取ボックスに、置いていてもらいます。高層階に住むならば、空き巣等の被害に遭う確率が少なく、防犯面も安心できます。学生が住むには、コストが少々高いかもしれませんが、何よりセキュリティがしっかりしているので、親は安心して送り出せますね。

なお、入居時に必要なコストとして、敷金1ヶ月、礼金1ヶ月(これは不要な場合あり)と家財保険(新しいマンションの場合12,000円くらい)が必要です。さらに、賃貸マンションの多くは契約期間2年と規定されていますので、2年経つと再契約するか、引っ越さねばなりません。

昔ながらの学生アパートの例

右図は、1ルームの例です。広さは約11㎡です。流し台は部屋にありますが、トイレは共同、お風呂は近隣の銭湯を利用するというタイプです。

建物の外観は古いですが、内部は改装されており、意外にきれいなケースがあります。この例では洋室になっていますが、畳敷きで和室の場合も多いようです。気になる月額家賃は、東京23区内で30,000円前後です。近畿圏では、京都市内で15,000円程度でした。



<住居に関するコストのまとめ：金額は年間推定>

住居初期コスト	敷金1ヶ月+礼金1ヶ月+家財保険+不動産屋仲介料	
家賃・共益費	12ヶ月分	
什器備品	新品購入代金+運送費(実家から送る物品)	約200,000円
公共料金	電力料金+ガス料金+水道料金+NHK	約96,000円

なお、照明器具とカーテンは付いていないことが多いです。洗濯機置場や冷蔵庫置場など寸法を測っておいた方がよいので、住まいの下見にはメジャーを持参しましょう。

なお、Kei-Net ホームページに「お部屋さがしのポイント」がありますので、参考にしてください。アクセスはこちらまで <http://www.keinet.ne.jp/doc/room.html>

<裏面も記事あり>

2. 物価について



一般的には「東京は物価が高い」と思われることでしょう。確かに、筆者もスーパーマーケットで買い物をしていると、「え！何でこんなに高いの？」と驚くことも度々ありました。しかし、人口が多いですから、スーパーの軒数も多く、競争が激しいのです。したがって、大都市の生活に慣れてくると、食料品をまとめて買う店、急ぎの間に合わせに買う店など用途で使い分けようになります。そして、今では「決して東京の物価は高くない」と感じるようになりました。百円均一の店もたくさんありますし、生鮮品から雑貨まで何でも安価に購入できます。したがって、派手な買い物をしないで、食事は出来る限り自炊生活を続ければ、食費や日用品などの生活費は心配するほど高額になりません。

3. 自宅外通学の大学生活にかかるお金について

1ヶ月の生活費(円)

【収入】	自宅生	自宅外生
仕送り・お小遣い	10,035	71,799
奨学金	10,438	28,375
アルバイト	32,750	25,465
定職	348	1,386
その他	1,299	565
収入合計(平均)	55,110	128,920
【支出】		
食費(外食費を除く)	2,755	18,637
外食費	7,884	10,300
住居費	425	45,368
水道光熱費	109	6,636
交通費	5,022	3,888
娯楽費	9,097	8,264
書籍費	2,385	3,617
勉学費	1,539	1,345
日常費	5,667	6,176
電話代	2,084	4,152
その他	1,386	1,807
貯金・繰り越し	10,261	15,100
支出合計(平均)	49,531	118,833

出典：河合塾 Success Mail VOL.25

自宅外通学の大学生活にかかるコストの参考資料として、河合塾 Kei-Net 特派員に実施したアンケート結果を左に掲載しました。自宅外生の支出のうち住居費の占める割合が最も高いと言えます。別の調査では、首都圏の自宅外生の支払う住居費は1ヶ月平均・約6万4000円とされています。これを左表の自宅外生に当てはめると、1ヶ月の総収入額のほぼ半分が住居費として消えてしまいます。そのシワ寄せが生活費にくるのは当然と言えます。たとえば、大学生が生活費の中で、節約したい項目の第一位は外食費とのことです。左表には細かく項目されていませんが、嗜好品代、衣料品代、飲酒代などが続きます。この項目を見る限りでは自宅外生は、意外につつましく生活を送っているようです。また、大学生の昼食代は1食あたり平均406円という統計調査もあり、かなり抑えられている実態があります。前項2でも触れましたが、なるべく自炊生活を心がければ、生活費は切り詰めが可能です。逆に、今後増やしたい項目は、貯金、書籍代、勉学費を挙げています。

4. アルバイトについて

また、自宅外生が4年間の全費用を親に頼っているわけではありません。仕送り以外の収入源といえば一般的にアルバイトがあります。ただ、収入を得ることを追求するあまり、本来の学業に身が入らず、アルバイトに熱心になることは絶対に避けましょう。雇用主の多くはアルバイトの学業への影響など気にしません。アルバイ

ト学生でも長期間勤めているうちに業務に

精通するので、『安価で優良な労働力』とみなして、過剰に働かせる場合もあります。『貯金はできたけど、大学も留年した』など笑えないことにならぬよう気をつけましょう。また、アルバイトの職種は危険が伴わない、学生にふさわしいものを選ぶべきです。大学4年間、安全に生活できるように、心がけましょう。

河合出版から - センター試験英語出題形式別問題集シリーズ' - 好評発売中です！



センター試験英語(筆記)対策のために出題形式別に編集した問題集。オリジナル問題を8~10回分収録。問題の解き方・攻略法、解説つき。
河合塾講師 小林 功・G Watkins / 共著

- 1 英語 第1問【発音・アクセント・発話強調の意図】 税込定価 780円
- 2 英語 第2問【文法・語法、対話完成、語句整序】 税込定価 800円
- 3 英語 第3問【意味類推、意見要約、文補充】 税込定価 840円
- 4 英語 第4問【図表問題】 税込定価 840円
- 5 英語 第5問【ヴィジュアル問題】 税込定価 840円
- 6 英語 第6問【長文読解問題】 税込定価 880円

サテライト講座と併せて使おう！

河合サテライト通信第49号 ご愛読ありがとうございました。